

Join!

長門湯本観光まちづくり
みんなの力で湯ノバージョン

成長戦略推進課 Tel 23-1234
長門湯本みらいプロジェクトHP
http://yumoto-mirai.jp/

懐かしの湯本フォト



写真提供：湯本まちかど資料館館長 吉富尊一

賑わう温泉街をめざして

道路空間の活用と交通の未来

長門湯本温泉では全国トップ10に入る魅力的な温泉街となるため、そぞろ歩きができる道路空間の活用や交通のあり方について、検討を進めています。

道路や交通のあり方を考えることは、将来的なまちの魅力を高める上で非常に重要です。

例えば、駐車場の立地。施設のすぐ隣にあることは、便利で当たり前のことのように思われますが、まちづくりを考えた場合、まちに回遊を生み出せるか、人が安心安全に歩けるかなど、いろいろな視点で考えることが重要です。

昨年の秋、社会実験として道

路上にベンチやテーブルなどを設置、車両については一方通行などの規制を実施し、温泉街の雰囲気はどう変わるのかを検証しました。その結果、広く取られた歩行者空間によりそぞろ歩きが楽しまれたほか、車両から見た安全性や通行のしやすさなど、新しい道路の使い方や地域で実際に体験していただくことができました。

ここで得られた検証結果や課題を踏まえ、人が過ごしやすい空間にするために、公共的な機能を維持しながら快適な道路空間づくりに向けて地域や関係者と連携しながら検討を進めてい

きます。

道路は昔から人々の社会、経済、生活、文化を支え、時代に応じて発展を遂げてきました。これからも地域住民とともに今後の道路の整備や維持管理、交通の未来について考えて、賑わう温泉街を目指して取り組んでいきます。



▲道路の一部を休憩スペースとして活用

恩湯等施設整備・運営事業

公開ヒアリングを実施します

現在、新しい恩湯などの運営を担う民間事業者を公募しており、応募した事業者によるプレゼンテーションを実施します。質疑はできませんが、どなたでも傍聴できます。

■日時 2/14(水) 10:00～

■会場 湯本観光ホテル西京

■事前申込 不要

■問い合わせ 成長戦略推進課

Tel 23・1234

まちづくりのキーパーソン



《略歴》

1977年生まれ。株式会社日本海コンサルタント所属。趣味はまち歩き、ポタリング、バスケットボール

「人」中心の道路空間を目指して

片岸将広さん

(長門湯本温泉観光まちづくりデザイン会議 交通担当)

建設コンサルタントとして都市計画や交通計画の仕事に従事してきた片岸さん。長門湯本温泉観光まちづくり事業では、温泉街の交通実態を明らかにし、

これからの道路交通環境のあり方を地域住民と一緒に検討し、実現する役割を担っています。「観光まちづくりの実現には、人が安全に楽しく歩いて回る環境が不可欠。道路空間を活かして人と人、人とまちをつなぐ仕掛けを行うことが大事」と語る片岸さん。昨年9月に実施した社会実験では、実際に道路空間を活用することで人や交通にど

う影響があるかを調査、検証することができ、賑わい創出に向けた手応えを感じています。

温泉街の印象を「長門湯本温泉は音信川を軸に、ヒューマンスケールで親しみやすい温泉街。また地域のことを真剣に思う熱い人たちがいる」と語り、「今後は社会実験や調査で得た知見をもとに、温泉エリア全体の交通ビジョンを立案し、人中心の道路空間の構築と新しいモビリティの導入による全国の地方都市や温泉街のモデルになるような展開を目指したい」と意気込みを語ってくれました。